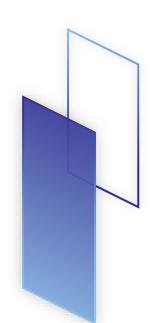


# FHIR to OMOPソリューション 「InterSystems OMOP」 のご紹介

インターシステムズ ジャパン セールスエンジニア 古園 知子

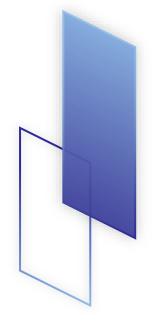


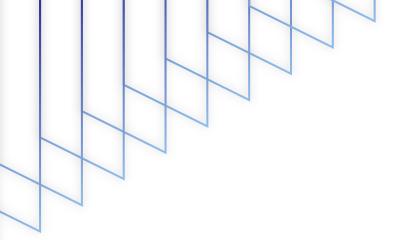




- 1. InterSystemsのご紹介
- 2. OMOP CDM変換の課題
- 3. InterSystems OMOPのご紹介
- **4.** デモ

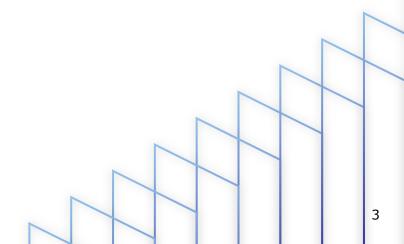






# InterSystemsのご紹介

InterSystemsと、InterSystems製品の概要についてお話しします。



# インターシステムズについて

U

- ◆ 設立 1978年 / 日本法人設立 2003年
- ◆ 創始者兼CEO:テリー・レーガン
- ◆ 株式非上場、無借金経営
- ◆ 従業員 2,000名以上
- ◆ 販売パートナ 1,600社以上
- ◆ 設立以来45年以上継続的成長
- ◆ 世界100ヵ国以上でビジネス
- ◆ Gartner、KLAS、 Forresterなど アナリストから高い評価

# InterSystems in Healthcare

- 世界で10億件以上の患者記録を管理
- ガートナーの「EHRグローバル・ソリューション」の2/3以上がインターシステムズ技術を採用
- 米国ベストホスピタル20病院 \*\* すべてが インターシステムズ技術を使用

InterSystems 展開国

A Creative Technology Partner
With a Passion for Excellence
And Customer Success

卓越性とカスタマーサクセスに情熱を注ぐクリエイティブ・テクノロジー・パートナー By Terry Ragon InterSystems データプラットフォームの歩み

DBソフト: Cache' 及び

連携プラットフォーム: Ensemble

が進化し、2018年に

世界初の医療専用データプラットフォーム

「IRIS for Health」がLaunchしました。

ためる

SQL

CACHE

オブジェクト

1996

ためる つなぐ 利用する

BI

ためる つなぐ

HL7v2, v3、SS-MIX2 CDA/CCD、IHE-ITI DICOM, ASTM

インターオペラビリティ

ENSEMBLE

2003

**FHIR** 

API管理

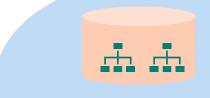
Python対応

カラムストレージ

Integrated ML

InterSystems™

2018



階層型データベース

1978



# InterSystems IRIS for Health™

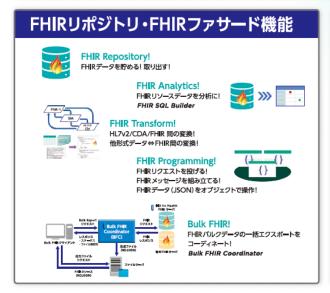


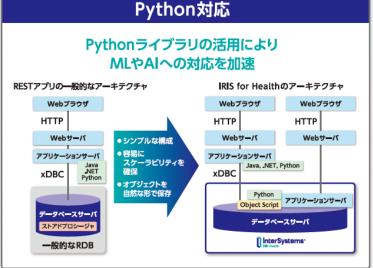


医療用 サービス基盤・アプリケーション開発プラットフォーム











# InterSystems IRIS Cloud Services



# InterSystems IRIS Managed Service

IRISの全機能を利用でき、 AWS環境で動作する 運用監視、高可用性、災害復旧 フルマネージドIRIS

# InterSystems IRIS Cloud SQL

IRISのリレーショナルデータ ベース機能への直接アクセスを 提供

# InterSystems IRIS Cloud Document

IRISのドキュメントモデル機能 への直接アクセスを提供

# InterSystems Data Fabric Studio

ノーコード/ローコード フルマネージド Data Fabric (IDFS) InterSystems
Data Fabric Studio
with supply chain module

IDFSにサプライチェーンの データモデルを組み込み

### HealthShare Health Connect Cloud

大容量トランザクション処理、 プロセス管理、および監視機能 を提供する 医療データ交換統合エンジン

### **InterSystems FHIR Transformation Service**

FHIR R4リソースへの変換を 自動化し、 リソースをクラウドベースの データリポジトリに格納

## InterSystems FHIR Server

フルマネージド 高機能&高性能 FHIRサーバー/リポジトリ



HL7v2 / C-CDA / SDA3 ⇒ FHIR

\* FHIR Serverを中心とした Healthcare Service構成例 \*

# FHIRリポジトリ Bulk FHIR

Builder\*

FHIRリソースを

Coordinator \*
大規模FHIRデータ

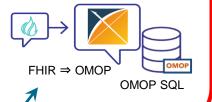
SQLテーブルに投影 エクスポート

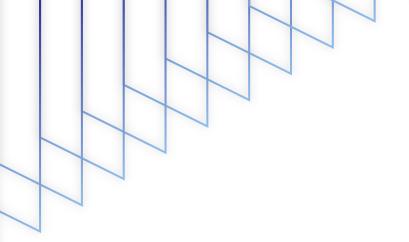
Bulk FHIRファイル (NDJSON)

\*はFHIR Serverの一機能

### **InterSystems OMOP**

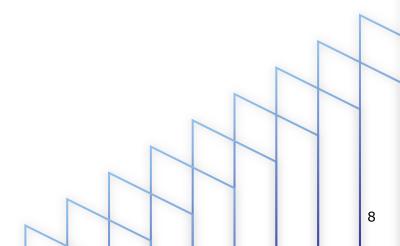
FHIR⇒OMOP CDMの変換 OMOPリポジトリサービス OHDSIツールとの連携が可能





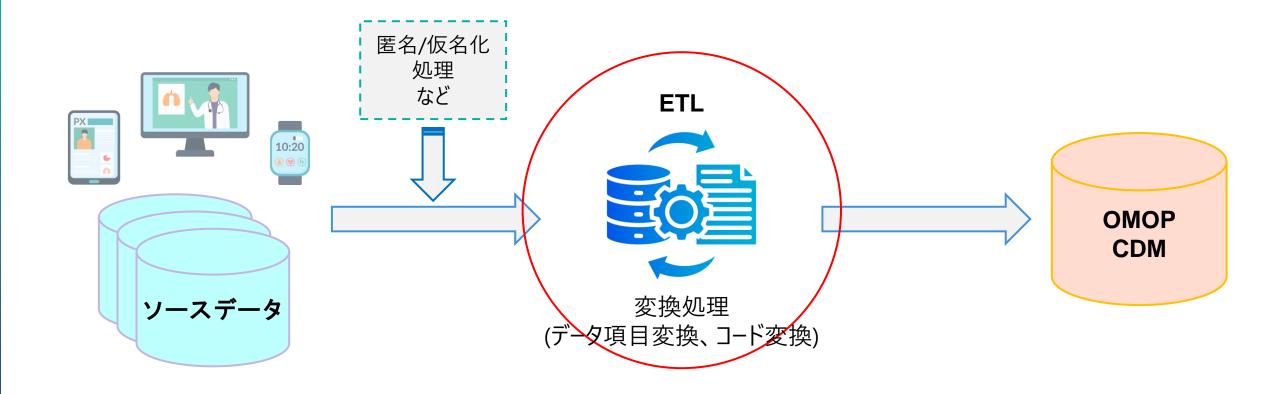
# OMOP CDM 変換の課題

OMOP CDMユーザーはどのような課題を抱えているでしょうか



# OMOP CDMのデータは変換して生成される





# OMOPユーザーにとっての主要な課題

◎ 2024年のOHDSIユーザー会議アンケート

:課題と感じていること

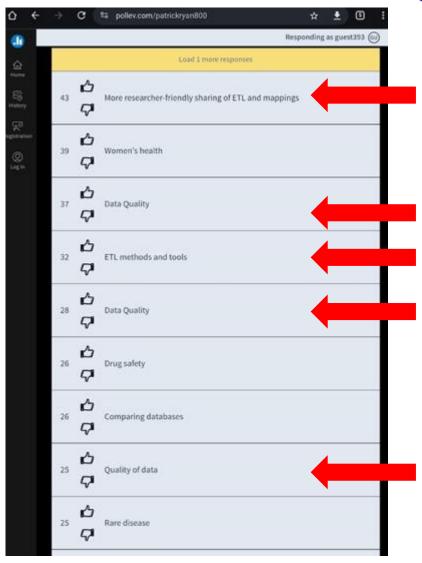
⇒データ品質:89

ETL: 76

手作業とカスタムスクリプトによる対応

- 実装・保守にコストがかかる
- EHRはFHIR APIを備えるが、OMOPでの活用は限定的
- データ品質が良くない
- クラウドの柔軟な一時環境(エンクレーブ)を活用できていない





# より優れたOMOP ETLツールの必要性に関するユーザーの声



### アジアの大学病院(TrakCare、データサイエンスチームリード)

「研究部門のためにOMOPデータを作成するETLを構築するのに6ヶ月かかりました。 ですが、そのETLを維持管理したくありませんし、他の部門のためにまた新たに構築したくもありません。 私は**既製品の利用を希望**します。|



# 米国の大学病院(Epic、チーフ研究情報責任者)

「EHRからOMOP CDMベースの研究用データ環境への自動更新パイプラインを長期間かけて構築し、これにアクセスするために製薬企業は数 百万ドルを支払っているが、この仕組みの**構築と維持にかかる大きなコスト負担**のため、**収益をさらに広げることが難しく**なっています。1

### 米国南部地域HIE(研究・分析ディレクター)



「私たちのチームはOMOPリポジトリ用にICD9/10からSNOMED CTへのマッピングを3ヶ月かけて構築しました。 もっと多くの研究者に簡単にサービス提供するために、既製品を使いたいと思います。 |

### 欧州のグローバル製薬企業(グローバルがんネットワークディレクター)



「12の病院のうち3つはOMOPの専門知識がありますが、残りの9つの病院のスタッフにはOMOPの知識が不足しています。 このため、私たちのがんのリアルワールドデータ研究が遅れてしまい、薬の承認を加速できていません。」

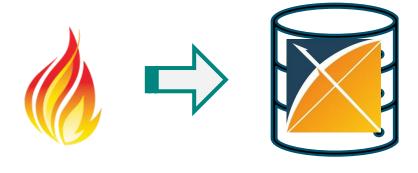
### 米国の大学病院(Epic、CIO/データアーキテクト)



「研究者は自分たちでOMOPリポジトリを構築できますが、そのプロセスは非効率的で、**貴重な資金とリソースを浪費**しています。私は研究者 から費用を回収でき、コスト管理ができる企業向けのOMOP提供サービスを作りたいと思います。I

# **InterSystems OMOP Is the FHIR to OMOP Solution!**

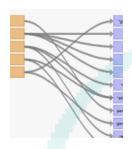




FHIRリソース	OMOP CDMテーブル
Patient	Person, Location, Death
Encounter	Visit_occurence
Condition, AllergyIntolerance	Condition_occurence, Measurement, Observation, Procedure_occurence
Observation	Observation, Measurement, Condition_occurence, Procedure_occurence, Death
Location, Organization	Care_site
Practitioner	Provider, Location
Procedure	Procedure_occurence, Condition_occurence, Measurement, Observation
MedicationAdministration, MedicationRequest, Immunization	Drug_exposure

# InterSystems OMOP の特徴

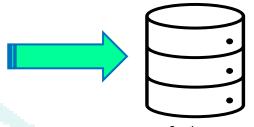




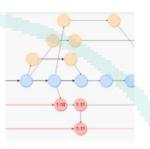
すぐに使える FHIR to OMOPマッピング



データ品質 レポート



外部OMOPリポジトリへの 書き込み



完全自動の ETL



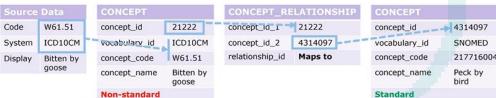
患者単位での 更新



コーディング不要



クラウド型SaaS



Local Terminology/Vocaburaly 対応



# **Default Vocabulary**

Supplier 2

Specimen Type<sup>™</sup>



デフォルトで、OMOP標準ボキャブラリの一部をサポートしています。 これらのボキャブラリを使用する変換については、ボキャブラリの追加は必要ありません。

CVX <sup>[2]</sup> DRG <sup>[2]</sup> Episode Type <sup>[2]</sup> Ethnicity <sup>[2]</sup> Gender <sup>[2]</sup> HC	CPCS <sup>™</sup>
HES Specialty ICD10 ICD10 ICD10CM ICD10GM ICD1	9Proc <sup>©</sup>
LOINC MDC Medicare Specialty MeSH NUCC OMOP E	Extension <sup>©</sup>
Provider Race Revenue Code Revenue Code RxNorm RxNorm Extension SNC	OMED <sup>[2]</sup>

# OHDSIの正式サポートデータベースに















### Supported Database Platforms

Below are the database platforms currently supported by HADES, with the following details:

- Platform: The name of the platform.
- Abbreviation: the abbreviation used throughout HADES.
- . Status: The status of HADES support. 'Deprecated' means code for that platform exists, but the OHDSI community no longer supports it, so no guarantees are given.
- Testing: Whether the platform is tested in HADES' continuous integration.

Platform	Abbreviation	Status	Testing
Amazon RedShift	redshift	Supported	Yes
Apache Hive	hive	Deprecated	
Apache Impala	impala	Deprecated	
Apache Spark	spark	Supported	
Azure Synapse Analytics Dedicated	synapse	Supported	
DuckDB	duckdb	Supported	Yes
Google BigQuery	bigquery	Supported	
IBM Netezza	netezza	Deprecated	
InterSystems IRIS	netezza iris	Deprecated Supported	Yes
			Yes
InterSystems IRIS	iris	Supported	Yes
InterSystems IRIS Microsoft Parallel Data Warehouse	iris pdw	Supported Deprecated	
InterSystems IRIS Microsoft Parallel Data Warehouse Microsoft SQL Server	iris pdw sql server	Supported Deprecated Supported	Yes
InterSystems IRIS Microsoft Parallel Data Warehouse Microsoft SQL Server Oracle	iris pdw sql server oracle	Supported Deprecated Supported Supported	Yes Yes

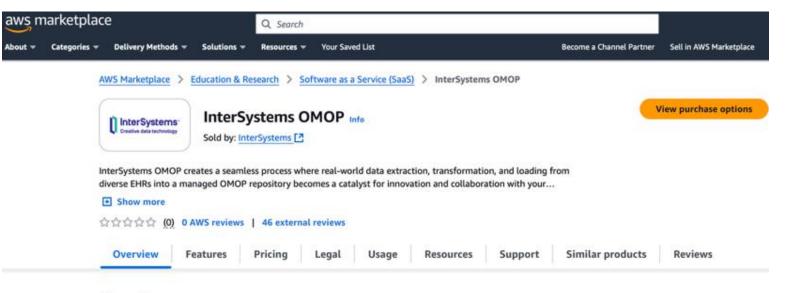


### OHDSI Tools

- ATI AS
  - : 分析のためのWeb UIツール
- HADES
  - : 分析のためのRライブラリ
- Data Quality Dashboard
  - :データ品質チェックツール
- ACHILLES
  - : データプロファイリングツール
- Athena
  - : ボキャブラリの検索・ロード用ツール
- White Rabbit, Rabbit in a Hat
  - : ETL支援ツール
- Usagi
  - :標準コードへのマッピング支援ツール

# **InterSystems OMOP on AWS**





2025年3月に 米国でサービス開始。

日本でもサービス開始に向けて、検討・準備中。

### Overview



customers solve their most critical scalability, interoperability, and speed problems, offers its market leading interSystems OMOP service through the

### Highlights

- Automated FHIR to OMOP data conversion and daily refresh in secure ephemeral data enclave for research
- Built in FHIR data quality checks and reports prior to OMOP transformation
- · OHDSI tools run on InterSystems IRIS platform

Details	
Sold by	InterSystems [2]
Categories	Education & Research [2]
	Healthcare & Life Sciences [乙]
	Data Analytics 🖸

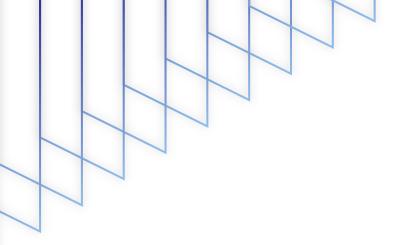
\* お試しになりたい場合は、 是非、ご連絡ください\*

# InterSystems OMOP 今後の予定



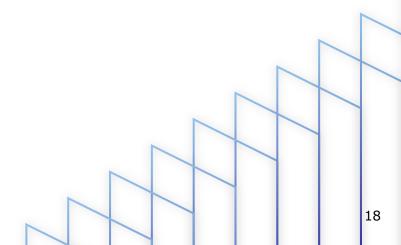
さらなる機能拡張を予定しています。

- ◆入力FHIRデータエラー解析サポート: InterSystems barricade(仮) ⇒エラー内容をより分かりやすく説明してくれる生成AIによるチャットボット機能。 出力されたエラーについて、さらに詳しい説明や修正箇所・方法などを提案する。 また、Warningについて、無視して良いかどうか等のアドバイスなども。 (例:米国では人種情報は必須だが、ヨーロッパではあまり必要ではない・・・など。)
- ◆自然言語⇒FHIR生成:texttoFHIR(仮)
  ⇒電子カルテ等に記載された自由記載項目の内容からFHIRリソースデータを生成する仕組み。



# Demo

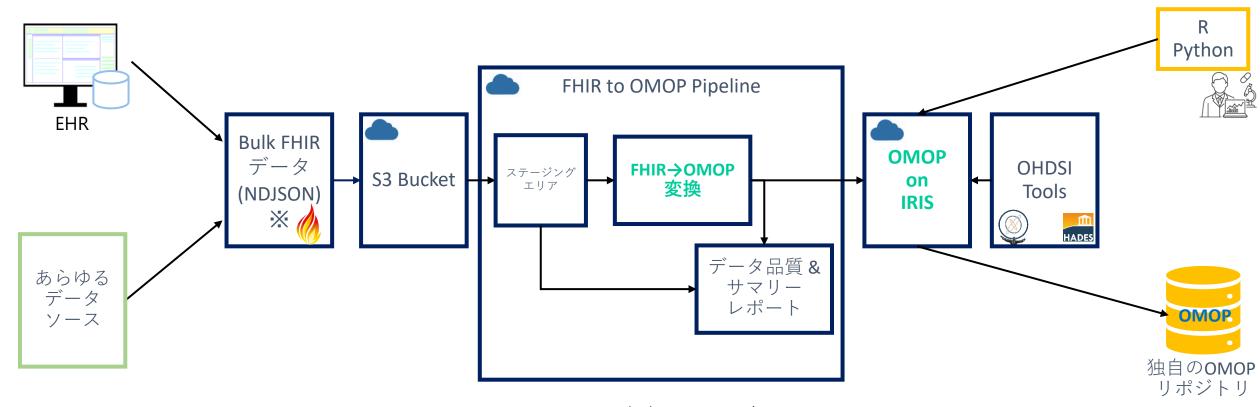
InterSystems OMOPの機能・実際の動きを、デモをでご覧いただきます



# 処理の流れ



FHIRデータを入力として受け取り、自動的に変換してOMOPリポジトリに格納



### **X** Bulk FHIR ∶

大量のFHIRリソースデータを一括で取得・ 転送するためのFHIR標準の拡張規格 (コチラの動画で説明しています ⇒ ⇒)

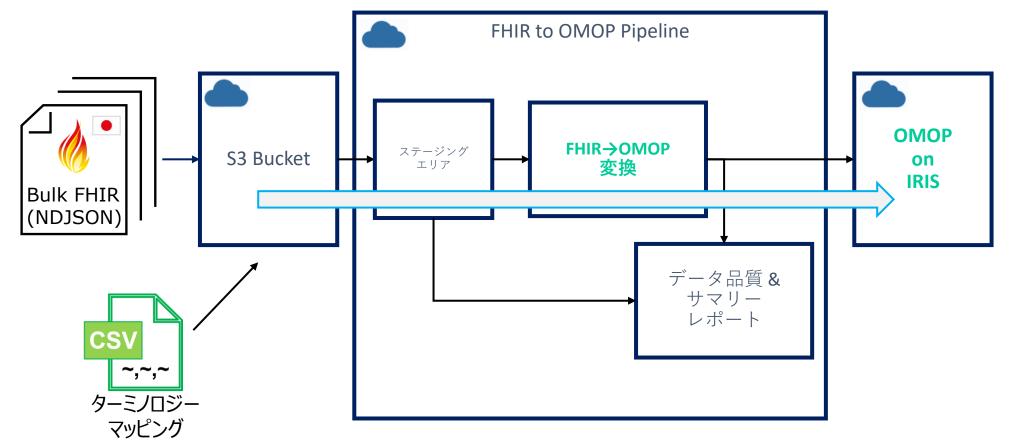


異なる患者コホート毎の 複数インスタンス



# デモ内容





- ①FHIRデータ(英語・USコード) 投入
- ②FHIRデータ(日本語・日本ローカルコード) 投入
- ③ターミノロジーマッピング追加(YJ⇒ConceptID)
- ④②の再投入



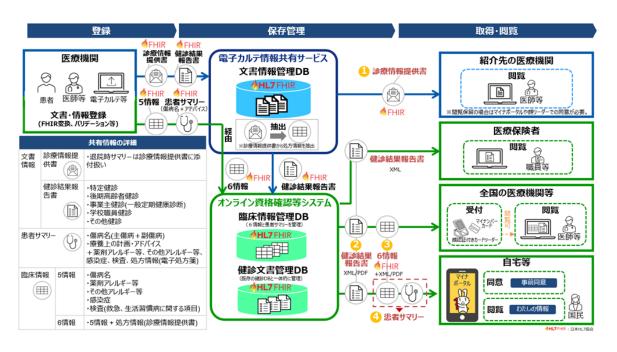
# **Demo**

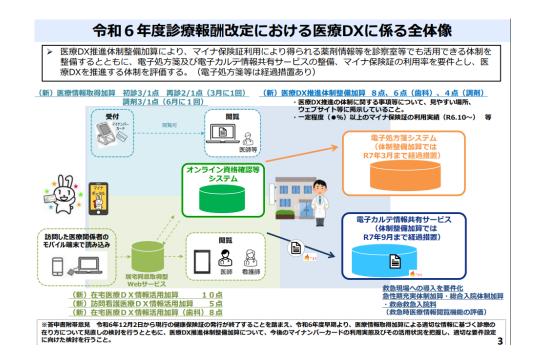


# つまり・・・



# FHIRさえあれば、OMOP CDMへの変換が可能に!





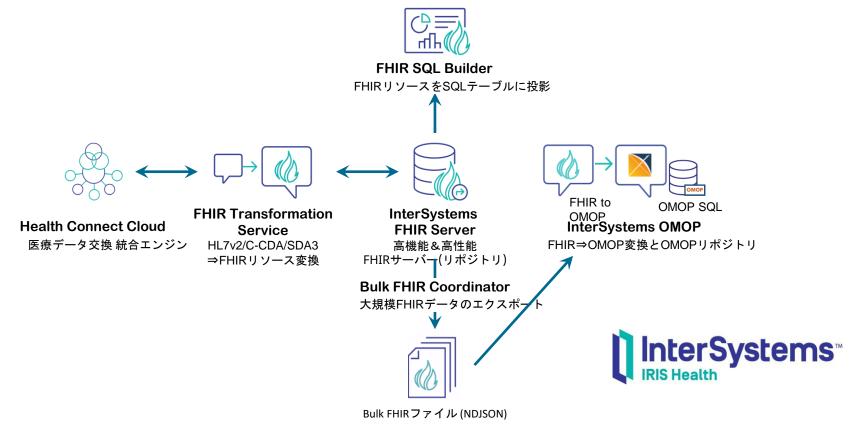


データの二次利用まで視野に入れられます。

# FHIR × OMOP CDMで広がる 医療データの価値



# FHIRは「今」の医療をつなげるデータ、 OMOPは「未来」の医療へつながるデータです。



InterSystemsは、医療データ→FHIRへの変換→OMOPへの変換まで一貫したソリューションを提供します。

